

修士論文（要旨）

2026 年 1 月

台湾における高齢者の義歯に対する満足度とその関連要因
—新北市新店区在住高齢者を対象として—

指導 渡辺 修一郎 教授
国際学研究科
国際学専攻
老年学学位プログラム
224J5006
Fang Meng Hsuan

Master's Thesis (Abstract)
January 2026

Denture Satisfaction and Associated Factors Among Older Adults in Taiwan: A Study
Targeting Older Adults Residing in Xindian District, New Taipei City

Fang Meng Hsuan

224J5006

Master of Arts Program in Gerontology

Master's Program in International Studies

International Graduate School of Advanced Studies

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Shuichiro Watanabe

目次

1. 研究背景	1
1.1 先行研究の到達点と課題	2
2. 研究目的	3
3. 研究方法	
3.1 調査対象とデータ収集	4
3.2 調査時期	4
3.3 調査内容	4
3.4 倫理的配慮	5
3.5 統計分析手法	5
4. 結果	
4.1 対象の属性	5
4.2 義歯の使用状況	5
4.3 義歯の総合的満足度	6
4.4 各側面における主観的評価	6
4.5 義歯の総合満足度と関連要因の相関分析	6
4.6 義歯の総合的満足度の関連要因の多変量解析結果	7
5. 考察	
5.1 対象者の属性と義歯使用状況.....	7
5.2 義歯満足度に関連する要因.....	7
5.3 本研究の限界と今後の課題	9
6. 結論	9
引用文献	I
表.....	III
調査項目.....	V

1. 研究背景

台湾では急速な高齢化の進行に伴い、義歯を使用する高齢者が増加している。義歯は高齢者の咀嚼機能の回復や食生活の維持に重要な役割を果たす補綴装置であるが、その満足度は必ずしも一様ではない。先行研究では、義歯の機能的側面だけでなく、審美性や快適性、主観的感覚が満足度に影響することが示されている。しかし、台湾において地域の臨床現場に即した義歯の満足度と関連要因を多面的に検討した研究は十分に蓄積されていない。そこで本研究は、新北市新店区に在住する高齢者を対象として、義歯の総合的満足度の実態を把握するとともに、その関連要因を明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法

本研究は横断的質問紙調査として実施した。新北市新店区内の歯科クリニックに通院する65歳以上の高齢者を対象に、義歯の使用状況、主観的評価および義歯の総合的満足度に関する調査を行い、178件の有効回答を得た。義歯の総合的満足度は5段階リッカート尺度で評価し、咀嚼能力、快適性、審美性（見た目：義歯、顔貌）、味覚、発声、心理社会的側面などの項目を測定した。分析には記述統計、Spearmanの順位相関分析および二項ロジスティック回帰分析を用い、義歯満足度に関連する要因を検討した。

3. 結果

分析の結果、対象者の多くが義歯を日常的に使用しており、義歯に対する総合的満足度の中央値は4（5段階評価）と、全体として概ね良好な水準にあることが明らかとなった。相関分析では、咀嚼能力、快適性、審美性が義歯の総合的満足度と強い正の関連を示し、特に咀嚼能力との関連が最も強かった。また、歯科医によるアフターケア、および、家族や友人からの支援は義歯の総合的満足度と中等度の正の関連を示した。多変量解析の結果、咀嚼能力、義歯の外観および快適性が満足度を高める主要因として抽出され、発声の自覚的明瞭度は満足度を低下させる方向に関連していた。

4. 考察

本研究の多変量解析の結果から、義歯の総合的満足度と最も強く関連する要因は、咀嚼能力満足度であることが明らかとなった。義歯の第一義的な目的が「嚙む機能の回復」であることを反映したものと考えられる。審美性に関する変数では、義歯の見た目の満足度がモデルに採択された。顔貌の審美性よりも義歯の審美性の方が総合的満足と関連した理由として、義歯は使用者が日常的に目にする機会が多く、会話や食事の際に他者からも見られる機会が多いため、義歯の「出来の良さ」を象徴する要素として認識されやすいこと、また、使用者の自己評価や社会的自尊心に影響を与える可能性が考えられる。快適性も義歯の満足度と有意な関連を示しており、痛みや違和感の軽減が満足度向上の鍵となると考えられた。継続的な義歯の調整や定期的なフォローアップの必要性を示す臨床的示唆が得られた。

引用文献

8020 推進財団 (2023) . 過去の 8020 運動の概要 .
<https://www.8020zaidan.or.jp/what/past.html>

Aida, J., Matsuyama, Y., & Koyama, S. (2015). 口腔の健康格差と社会的決定要因.
In 健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス.

Akagawa, Y., Sato, Y., Hamada, S., Tenma, H., Yoshida, M., & Tsuru, H. (1993). A general satisfaction score of full denture wearers. *Hiroshima Daigaku Shigaku Zasshi (The Journal of Hiroshima University Dental Society)*, 25, 44–48.

Baniasadi, K., Armoon, B., Higgs, P., Bayat, A. H., Mohammadi Gharehghani, M. A., Hemmat, M., ... Schroth, R. J. (2021). The association of oral health status and socio-economic determinants with oral health-related quality of life among the elderly: A systematic review and meta-analysis. *International Journal of Dental Hygiene*, 19(2), 153–165. <https://doi.org/10.1111/idh.12433>

Bhutta, M. F., Nizamani, M. A., & Shaikh, S. (2023). Patient satisfaction with complete dentures and its associated factors. *Journal of the Pakistan Dental Association*, 32(2), 64–69.

Bilhan, H., Geckili, O., Ergin, S., Erdogan, O., & Ates, G. (2013). Evaluation of satisfaction and complications in patients with existing complete dentures. *Journal of Oral Science*, 55(1), 29–37.

Ikui, N., & Nishizaki, M. (2012). 歯を失い義歯を新製した高齢者の気持ちの変化に関する一考察：義歯新製前後の気持ちに着目して. *東邦看護学会誌*, 9, 17–22.

Kinoshita, T. (2023). 歯がない状態が健康や生活に影響するデメリットとは？
<https://reurl.cc/L6emoe>

Kikutani, T., Yoshida, M., Enoki, H., Yamashita, Y., Akifusa, S., Shimazaki, Y., Hirano H., Tamura, F. (2013). Relationship between nutrition status and dental occlusion in community-dwelling frail elderly people. *Geriatrics & Gerontology International*, 13(1), 50–54.

Kun, H., Sato, N., Nomura, S., Sakurai, N., Tanaka, M., Hosogai, A., & Kawano, M. (2009). 高齢義歯装着者の義歯への満足度に影響する要因について. *日本補綴歯科学会誌*, 1(4), 361–369.

Kun, H., Sato, N., Nomura, S., Sakurai, N., Tanaka, M., Hosogai, A., & Kawano, M. (2009). Factors influencing denture satisfaction in elderly denture wearers. *Journal of Prosthodontic Research*, 53(4), 361–369.

Pandey, A. (2020). Factors related to patient expectation and satisfaction among new and existing denture wearers with complete denture therapy. *Journal of Nepalese Prosthodontic Society*, 3(2), 86–91.

Sato, M., Iwasaki, M., Minagawa, K., Ogawa, Y., Yamaga, T., Yoshihara, A., & Miyazaki, H. (2018). 地域在住高齢者における現在歯数および義歯の使用状況・主観的評価とフレイルとの関連についての横断研究. *口腔衛生学会雑誌*, 68(2), 68–75.

Stojilković, M., Gušić, I., Berić, J., Prodanović, D., Pecikozić, N., Veljović, T., Mirnić, J., Đurić, M. (2024). Evaluating the influence of dental aesthetics on psychosocial well-being and self-esteem among students of the University of Novi Sad, Serbia: A cross-sectional study. *BMC Oral Health*, 24(1), 277.

台南市政府衛生局 (2008). 台南市口腔健康調查報告書 (96 年度).
https://health.tainan.gov.tw/warehouse/F8BCB915-C08B-47F3-A731-1C30A3EE61EE/F_1732237629937e.pdf

內政部統計處 (2023). 113 年第 44 週內政統計通報. 內政部.
https://www.moi.gov.tw/News_Content.aspx?n=9&s=322560

王姿穎、許坤榮、黃曉靈、藍守仁、李惠娥、嚴雅音 (2010). 佩戴活動式假牙老人的假牙滿意度及其相關因素探討—以高雄市長青中心為例. *Taiwan Journal of Oral Medicine Sciences*, 26(2), 90–105.

王麗惠·劉 (2005). 老年人生活品質之評估與影響因素探討. *長庚護理*, 16(3), 251–260.

周燕芳、謝素英、葉淑玲、張依玲、林文明、黃慈心、周桂如 (2024). 老人住宅之高齡者口腔健康相關生活品質的相關因素探討. *長庚護理*, 35(1), 13–22.
[https://doi.org/10.6386/CGN.202403_35\(1\).0002](https://doi.org/10.6386/CGN.202403_35(1).0002)

張炳華、陳彥臻、賴君瑋、徐桂芳、張珽宇、林川雄 (2023). 探討飲食行為、口腔保健與預防性就醫對口腔健康之影響. *運動與遊憩研究*, 18(1), 14–27.
[https://doi.org/10.29423/JSRR.202309_18\(1\).02](https://doi.org/10.29423/JSRR.202309_18(1).02)

許毓芳、鍾宜臻、簡暉慈、邱麗玲 (2021). 臺灣飲食質地備餐指引在長照機構餐點介入之探討. *長庚科技學刊*, 34, 35–51. [https://doi.org/10.6192/CGUST.202106_\(34\).4](https://doi.org/10.6192/CGUST.202106_(34).4)

藍文謙·施宜煌·林建宏 (2019). 高齡者口腔健康與生活品質之關係探討. *臺灣老年學誌*, 12(2), 45–60.

藍文謙、施宜煌、林建宏 (2019). 高齡者口腔健康與生活品質之關係探討. *臺灣老年學誌*, 12(2), 45–60.

衛生福利部國民健康署 (2015). 中老年身心社會生活狀況長期追蹤調查報告.
<https://www.hpa.gov.tw/Pages/List.aspx?nodeid=108>

衛生福利部國民健康署 (2021). 國民健康訪問調查 (NHIS) 統計報告.
<https://www.hpa.gov.tw/Pages/Detail.aspx?nodeid=364&pid=18514>

陳愛如 (2018). 高齡者之口腔健康促進行為及其相關因素之研究. 輔仁大學公共衛生學系碩士論文.